

いまさらだけど



PTAって……

春にある役員改選。

「役員決め」と言ったとたん緊張感が高まります。なんとか決まると、ほっとした空気がながれます。自薦、他薦、時にはくじ引きで決まる場合もあります。子ども達が学校生活を送るには、親の協力が必要なはわかるのですが、できれば役員は「避けたい」という思いもあつたりします。PTA必要論、不要論など、論争がおきるほど世の中の関心は高くなっているようです。

そもそも、PTAって何でしょう？
どういう役割があるのでしょうか？
参加したくなるPTA活動とはどのようなものでしょう？今さらですがPTAについてちょっと調べてみました。

社会が変化していく中、私たちのPTAも見直しの時がきているのではないのでしょうか。



いまさらだけど PTAってどういう意味？

PTAとは
Parent
Teacher
Association

の略で、親と教師が一緒になって、子どもの為に活動する会です。任意の団体で教育委員会や文部省にも属さない独立の組織なのです。

PTAって自動的に入るものと思ってた。それに、全くの独立した組織だっていうのも知らなかった。どういう経緯でできたの？

戦後、日本を占領したアメリカが教育も民主化しようと父親だけでなく母親の発言権を持たせた女性解放運動の一つでもあったのです。

へえ～そんな歴史があったのねでもどんな役割なの？

親と先生と一緒に子ども達の成長の為にボランティアで活動する会です。社会もどんどん変化してきていて子ども達も先生も勉強していくための大人の学びの場でもあるのです。

そうだね。大切なことだね。子ども達は学校、家庭で力を合わせて育てていくってことね。だけど役員って大変そうだし時間も取られるし、できればやりたくないっていうのが本音じゃないかしら…。

まず行事に参加して頂いてできることから始めてみましょう！楽しみながら子育てすることが一番大切です

